

IV 地域保健課の業務概要

地域保健課の業務は、保健師関係指導事業、母子保健事業、成人・老人保健事業、総合的な自殺対策推進事業、地域・職域連携推進事業、栄養改善事業及び精神保健福祉事業を主要業務として、管内市町及び関係機関と連携を図りながら事業を推進している。

1 保健師関係指導事業

保健師は、企画課・地域保健課・疾病対策課・成田支所に配属され、センター内各種保健指導業務の他、市町村保健活動に対して、各種会議や連絡会等で計画・評価の支援を行っている。

また、保健活動の推進を図り、市町保健従事者の充実に努めるとともに、管内看護管理者研修会の開催、印旛郡市保健指導者研究会等への支援、管内保健師現任教育連絡会、管内新任期及び中堅期・管理期保健師研修会を開催し、資質の向上を図っている。

(1) 管内概況

管内の保健師就業数は、保健所に18人（副センター長1人、企画課1人、地域保健課6人、疾病対策課6人、成田支所4人）であり、市町村保健師は、平成29年4月1日現在176人（新規採用者17人）である。市町で保健衛生関係に従事する者は120人、福祉に31人、介護保険に18人、その76人となっている。

表1－(1) 管内保健師就業状況（平成29年4月1日現在）

(単位：人)

区 分 年 度	総数	保健所	市 町 村			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
平成27年度	189	20	112	29	22	6
平成28年度	186	19	108	32	21	6
平成29年度	194	18	120	31	18	7
成 田 市	30	-	18	11	0	1
佐 倉 市	37	-	26	7	2	2
四 街 道 市	20	-	13	2	4	1
八 街 市	14	-	11	0	3	0
印 西 市	27	-	19	5	1	2
白 井 市	20	-	13	4	3	0
富 里 市	13	-	9	2	2	0
酒 々 井 町	8	-	6	0	1	1
栄 町	7	-	5	0	2	0

(2) 保健所保健師活動

地域保健法の施行により対人サービスの多くは住民に身近な市町村が実施しており、保健所保健師は、広域的・専門的な活動を中心に事業を実施し、市町村や関係機関と連携を取りながら支援活動を展開している。

表1－(2) 家庭訪問等個別指導状況（平成30年3月31日現在）

(単位：件)

種別	家庭訪問		訪問以外の保健指導				個別の連携 ・連絡調整
	実数	延数	面接		電話	メール	
			実数	延数	延数	延数	延数（再掲：会議）
総数	295	542	1,081	1,497	4,431	86	678(13)
感染症	77	114	20	32	382	0	145(0)
結核	172	352	71	100	1,137	83	273(5)
精神障害	2	4	7	9	30	0	15(2)
長期療養児	15	16	139	169	163	1	94(1)
難病	29	56	662	972	2,037	2	143(3)
生活習慣病	0	0	0	0	3	0	0(0)
その他の疾病	0	0	54	85	83	0	0(0)
妊産婦	0	0	0	0	3	0	3(0)
低出生体重児 (未熟児)	0	0	0	0	0	0	-
乳幼児	0	0	0	0	3	0	-
その他	0	0	128	130	590	0	5(2)
訪問延世帯数	289	532					

(3) 保健師関係研修(研究)会実施状況

ア 管内保健師業務連絡研究会

表1-(3)-ア 管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催年月日	テーマ	主な内容	参加人員(人)
平成29年 5月31日	各市町が新しい情報を取り入れ、地域に責任を持ち地域の特性に応じた効果的な保健活動の推進を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業検討「予防接種について」 ・予防接種事故、周知方法、契約関係、外国人対応、任意接種、新型インフルに対する予防接種マニュアル作成等について 	16
平成29年 7月24日	各市町が新しい情報を取り入れ、地域に責任を持ち地域の特性に応じた効果的な保健活動の推進を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会「子育て世代包括支援センターの立ち上げと現在の課題について」 講師：習志野市役所 健康増進課 母子保健係長 大久保美恵氏 講師：佐倉市役所 子育て支援課包括支援班 主幹 向後妙子氏 ・事業検討「子育て世代包括支援センターについて」 <ul style="list-style-type: none"> ・産後ケアを中心に情報交換 ・他妊娠・出産包括支援事業、母子手帳交付時の面接について 	30
平成29年 8月21日	各市町が新しい情報を取り入れ、地域に責任を持ち地域の特性に応じた効果的な保健活動の推進を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業検討「生活習慣病予防対策と重症化予防対策糖尿病性重症化予防対策」 ・生活習慣病予防対策、糖尿病性腎症重症化予防対策について 	20
平成29年 10月6日	各市町が新しい情報を取り入れ、地域に責任を持ち地域の特性に応じた効果的な保健活動の推進を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会及びHUG訓練「災害時の地域保健活動～母子の支援に視点をあてて～」 講師：城西国際大学看護学部 教授 清水清美氏 講師：千葉大学大学院看護学研究科 共同災害看護学専攻博士課程 佐藤真奈美氏 ※講演後 HUG 訓練実施のため、情報交換の時間が不足し、情報交換シートは紙面での実施。災害時の組織体制、災害マニュアル、平常時の取組、実施等について 	24
平成29年 11月1日	各市町が新しい情報を取り入れ、地域に責任を持ち地域の特性に応じた効果的な保健活動の推進を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会「精神疾患と自殺～その関連を知りいかに予防するか～」 講師：志津クリニック院長 志津雄一郎氏 ・事業検討「自殺予防対策」 <ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策に関する計画、自殺未遂者への対応、自殺予防対策の取組について 	19
平成30年 1月15日	各市町が新しい情報を取り入れ、地域に責任を持ち地域の特性に応じた効果的な保健活動の推進を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業検討「がん検診・特定健診関係」 <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診(通知、受診率向上のための取組、精度管理、胃内視鏡検査他) 特定健診(受診率向上、医療機関受診勧奨)、特定保健指導等について 	23

イ 所内保健師研究会

表1-(3)-イ 所内保健師研究会実施状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員 (人)
平成29年 6月28日	1 感染症集団発生対策研修復命 2 本年度の活動について 各課報告 3 その他 ・業務研究発表について	13
平成29年 8月18日	1 医療機関立入検査留意点について	4
平成29年 10月6日	1 業務研究の進捗について 2 現任教育実施進捗について 3 復命研修 歯周病、思春期やせ、結核 4 その他	12
平成30年 3月6日	1 現任教育まとめについて(3年目) 白石、館野 2 現任教育 キャリアラダーについて 3 「保健活動・保健事業」計画書について	16

ウ 保健所保健師ブロック研修会

表1-(3)-ウ 保健所保健師ブロック研修会実施状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員 (人)
平成30年 3月2日	講演「感染症のアウトブレイク調査の基本ステップ」 講師 千葉県衛生研究所感染症学研究室 研究員 蜂巢友嗣氏 グループワーク「感染症対策と保健師活動について」 (平成29年度山武健康福祉センター主催)	14

エ その他

表1－(3)－エ その他

開催年月日	主 な 内 容	参加人員 (人)
平成29年 7月3日	第1回管内保健師現任教育連絡会 1 (1) 管内新任期保健師等合同講義・情報交換会の実施結果について (2) 各市町における新任保健師研修実施内容について 2 平成29年度管内新任期(1～3年目)保健師及び中堅期保健師研修会の企画について 3 保健師現任教育の現状と課題について 4 その他	15
平成30年 3月8日	第2回管内保健師現任教育連絡会 1 管内保健師現任教育の現状と今後の取組について (1) H29年度管内新任期・中堅期保健師研修会の実施結果 (2) H30年度管内新任期・中堅期保健師研修会の計画について (3) 保健師現任教育の現状と課題について 2 (1) 現任教育の優先順位について (2) 新採用職員の支援・教育について (3) ジョブローテーションについて	15
平成29年 4月24日 9月5日	第1回管内新任期保健師研修会 1 講義 管内地域の概況及び健康福祉センター業務について 講師 センター長、副センター長、各課長 2 交流会 ※ 17名の新任の予定が4月のみでは合わず、2回に分けて同内容を実施。	20
平成30年 2月27日	第2回管内新任期保健師研修会 講演「困難事例の整理のポイント～個別支援能力を身につけよう～」 講師 臨床心理士 寶川由美子氏	13
平成30年 2月26日	管内中堅期保健師研修会 講演「自分も相手も大切にコミュニケーション～アサーティブを保健活動にいかす～」 講師 カウンセリングオフィスサンシャイン 代表 美野直子氏	14
平成29年 11月10日	業務研究集録原稿提出に向けての検討会 助言者 千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科 准教授 雨宮有子氏講師	18
平成30年 1月22日	印旛郡市保健指導者研究会三部合同研究会 講演 「メッセージコントロール・うつの方への面接法」 講師 NPO法人 メンタルレスキュー協会 小野田 奈美氏	52

(4) 管内看護管理者研修会

表1－(4) 看護管理者研修状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員 (人)
平成30年 2月26日	講演 「看護管理に役立つコーチング術～THE 離職～」 講師 オフィスセレンディピティー 代表取締役 鱸 伸子氏 アシスタント 松戸市立福祉医療センター 主査 上田眞輝子氏	45

2 母子保健事業

広域的・専門的な取り組みとして、母子保健事業の充実を図るため、管内専門医療機関・市町との連絡会議を開催し、育児支援の充実に努めている。

長期療養児療育指導として、専門相談や講演会等を実施し、災害時支援を含めた療養支援の充実を図っている。

思春期保健事業として、系統的・継続的な性(命)の教育推進のため、関係者と児童・生徒を対象とした講演会を実施し支援している。

また、平成16年度から不妊相談センターを開設している。

(1) 母子保健推進協議会

母子保健分野における問題点について、管内市町・医師会・関係医療機関・児童相談所・学校保健関係者等の代表者から構成される協議会を開催している。協議会の開催に先立ち、母子保健班長会議を開催し、管内市町の情報交換を行っている。平成29年度は産後ケア事業を実施していく上で大切な視点について話し合いを行った。

表2- (1) 母子保健推進協議会実施状況

開催年月日	委員数	主な協議内容
平成30年2月8日	28	1 報告事項 事前調査結果 2 講演「産後ケア事業を実施していく上で大切な視点について」 千葉大学大学院看護研究科 教授 森恵美氏 3 意見交換 (1) 産後ケアの中で課題と感じていること (2) 産後ケア推進のための必要な取組 (3) 他機関と連携していく上での課題

(2) 母子保健関係研修会

管内の母子保健従事者を対象に、新生児・妊産婦訪問指導従事者研修会（山武保健所と交互に担当）、乳幼児救医療法講習会、管内推進員研修会（栄養担当と交互に担当）を実施し、資質の向上を図っている。

表2- (2) 母子保健関係研修会実施状況

研修会の名称	開催年月日	参加者数・職種	内容
管内推進員合同研修会	平成29年 12月22日	49	講演「乳幼児の食べる力を育む食事の要点」 講師：和洋女子大学 家政学部長 柳沢幸江氏
新生児妊産婦訪問指導従事者研修会	平成29年 6月21日	45	講演：「妊娠糖尿病～支援に必要な基礎知識～」 講師：成田赤十字病院 糖尿病・内分泌 代謝内科副部長 橘香穂里氏

(4) 特定不妊治療費助成事業

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）対象者に、千葉県特定不妊治療費助成事業実施要綱に基づく経費の助成を平成17年1月から開始している。

平成28年1月20日以降に治療を終了した方に対して、男性不妊治療費をも助成対象となり15万円まで助成。初回の助成は30万円まで拡充された。

平成28年4月1日から新制度が完全施行となり、対象年齢、助成回数が変更となった。

ア 特定不妊治療費助成制度事業

表2-(4)-ア 特定不妊治療費助成実施状況

(単位：件)

年 度	実 件 数	延 件 数	内 訳			
			体外受精	顕微授精	男性不妊	そ の 他
平成27年度	392	644	135	243	0(1)	266
平成28年度	385	638	118	294	1(6)	225
平成29年度	430	707	142	298	3(7)	264

※男性不妊の件数は男性不妊治療単独の助成件数であり、()内の数値は、特定不妊治療を伴う男性不妊治療の助成件数である。

イ 不妊専門相談センター事業

表2-(4)-イ-(ア) 不妊相談実施状況

年度	回数	相談人員 (専門医)	相談人員 (保健師等)	
			随時	
平成27年度	6	15		16
平成28年度	6	13	随時	15
平成29年度	4	10		10

表2-(4)-イ-(イ) 不妊講演会実施状況

開 催 年 月 日	内 容	対 象	参 加 人 員
平成29年9月19日	大切にしよう こころと身体	千葉県立佐倉高等学校 1年生	337人

(5) 小児慢性特定疾病医療費助成制度事業

平成 27 年 1 月 1 日付け改正児童福祉法が施行となり、小児慢性特定疾病児童等の健全育成の観点から、小児慢性特定疾病医療支援に係る医療費の一部を助成し、小児慢性特定疾病児童等家庭の医療費負担の軽減を図ることを目的としている。

16 疾患群 756 疾病（平成 30 年 4 月 1 日現在）の児童等（新規 18 歳未満、継続 20 歳未満）が対象となっている。

表 2 - (5) 小児慢性特定疾病医療費助成制度受給者状況（各年 3 月 31 日現在）

(単位：件)

疾 患 名		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
総 数		633	620	603	110	125	82	64	91	68	35	15	13
1	悪性新生物	73	72	76	13	18	14	3	11	7	4	3	3
2	慢性腎疾患	48	41	36	4	5	11	2	7	2	3	1	1
3	慢性呼吸器疾患	41	39	45	11	13	4	4	7	2	3	0	1
4	慢性心疾患	119	116	104	28	17	8	16	20	9	2	2	2
5	内分泌疾患	170	160	144	19	28	16	16	22	23	10	5	5
6	膠原病	13	16	17	2	3	2	3	2	4	1	0	0
7	糖尿病	52	44	44	7	6	13	4	7	4	3	0	0
8	先天性代謝異常	23	22	19	4	7	3	2	0	3	0	0	0
9	血液疾患	15	14	17	5	1	1	4	1	2	2	0	1
10	免疫疾患	3	4	4	1	0	0	0	0	1	2	0	0
11	神経・筋疾患	31	38	41	6	9	5	3	8	6	3	1	0
12	慢性消化器疾患	30	37	41	8	16	3	4	1	5	2	2	0
13	染色体又は遺 伝子に変化を 伴う症候群	10	11	9	1	0	2	1	5	0	0	0	0
14	皮膚疾患	5	6	6	1	2	0	2	0	0	0	1	0

(6) 療育医療制度

療育医療（児童福祉法第20条）は、長期の療養を必要とする18歳未満の結核治療のために入院を要する児童に対しての医療給付及び学用品や日用品の支給を行うものだが、平成27年度、平成28年度、平成29年度と申請はなかった。

(7) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

小児慢性特定疾病児童等の保護者の不安の軽減を図ることを目的とし、日常生活における知識、技術の向上、患者家族同士の情報交換の場として講演会を開催した。また、養護教諭や医療関係者等、支援者の知識や技術を高めることにより、長期療養児への生活支援を行えるよう、支援者向けの講演会も併せて実施した。

表2-（7）小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

名 称	実施年月日	参加人数・内訳	内 容
小児慢性特定疾病児童等に対する講演会・交流会 (慢性腎疾患講演会・交流会)	平成30年 1月25日	26人 慢性腎疾患を抱えている児とその家族及び関係者	1. 講演：子どもの慢性腎疾患と日常生活の留意点について 講師 聖隷佐倉市民病院院長補佐 川村研 氏 2. 交流会 助言者 聖隷佐倉市民病院院長補佐 川村研 氏 東京「腎炎・ネフローゼ児」を守る会 杉野佐代子氏
小児慢性特定疾病児童等を対象とする医療・福祉等従事者講演会	平成30年 1月25日		慢性腎疾患講演会・交流会に学校等関係者も含めて開催
小児慢性特定疾病児童等に対する講演会	平成30年 2月22日	23人（患者家族11名、関係者12名） 小児慢性特定疾病受給中の気管切開及び人工呼吸器装着等の未就学児とその家族及び関係者	1. 講話① 特別支援学校の先生からのお話 講師 千葉県立四街道特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 糸久陽子 氏 講話② レスパイトケアについて 講師 下志津病院 主任児童指導員 稲澤淳一氏 2. レクリエーション 下志津病院 主任保育士 鎌田多恵子氏 保育士 鈴木篤子氏、溝口あゆみ氏、友部咲良氏 3. 交流会 助言者 下志津病院 医療社会事業専門員 川口由紀子氏 4. スノーズレン体験

(8) 思春期保健相談事業

学校保健と地域保健の連携を深め、思春期保健の推進を図るため、学校関係者や行政保健師等を対象に講演会を実施した。

表2- (8) 思春期保健事業講演会

名 称	開 催 年 月 日	参加者	内 容
思春期保健講演会(関係者向け)	平成29年 8月4日	75人 養護教諭、教諭、 市町保健師他	不登校、引きこもり、摂食障害、リストカットを一緒に考えよう ～母として経験に基づく対応の仕方について～ 講師 M.T ねっとわーく代表 家庭内傾聴ファシリテーター 土佐 実也恵氏
思春期保健講演会(児童向け)	平成30年 1月22日	96人 富里市立富里小学校6年生、学校長、養護教諭他	いのちの授業 講師 佐々木出張専門助産所 助産師 佐々木 明代氏
思春期保健講演会(児童向け)	平成30年 3月9日	86人 富里市立富里南小学校6年生、教諭他	いのちの授業 講師 成田赤十字病院 助産師 佐藤 愛氏

(9) 乳幼児救急医療講習会

母子保健対策の一環として、乳幼児に関する職員や家族が乳幼児の病変時対応ができるように乳幼児の救急法を学ぶ。

表2- (9) 乳幼児救急医療講習会実施状況

研修会の名称	開 催 年 月 日	参加者数・職種	内 容
乳幼児救急医療講習会	平成29年 7月21日	26人 保育園保育士、看護師他	乳幼児救急の実践を学ぶ～園児の身を守るために～ 日本赤十字社千葉県支部幼児安全法指導員 路野 富子氏、佐野 智佳子氏

(10) その他会議や連絡会等

表2-(10) その他会議や連絡会等実施状況

名 称	開催年月日	参加者数・職種	内 容
母子保健班長会議	平成29年 7月3日	15人 市町保健師	1 平成28年度母子保健事業実績と平成29年度事業計画について 2 妊娠・出産包括支援事業について (1)産婦健康診査について (2)特定妊婦の基準について (3)養育支援訪問について (4)子育て世代包括支援センター取組状況について 3 新生児聴覚検査について 4 その他
小児周産期連絡会	平成29年 1回目： 5月23日 2回目： 9月26日	1回目：42人 2回目：43人 医師、看護師、 市町保健師等	成田赤十字病院との連絡会 事例検討、退院時サマリーや連携項目の検討、 特定妊婦について講話及びグループワーク
妊産婦・乳幼児等支援連絡会	平成29年 9月4日	24人 医師、看護師、 市町保健師	東邦大学医療センター佐倉病院との連絡会 講話1「サイトメガロウイルス感染症について他」 講話2「グリーンケアについて」 情報交換 妊産婦の支援体制、乳幼児の運動発達遅延の支援について他
印旛郡市妊娠糖尿病対策協議会	1 5月30日 2 7月12日 3 9月13日 4 10月24日 5 12月5日 6 2月13日 7 3月6日	1回目：9人 2回目：8人 3回目：10人 4回目：8人 5回目：10人 6回目：9人 7回目：11人	妊娠糖尿病の啓発や治療における問題点を各医療機関及び行政において共有し、妊娠糖尿病患者の教育及び療養を包括的に支援するためアンケート内容検討、作成し、アンケートの実施、啓発用のリーフレットの内容検討、作成、配布し周知について管内主要3病院（成田赤十字、東邦佐倉、日本医科大学千葉北総）の内分泌内科医師、産婦人科医医師、成田市、佐倉市、印西市、保健所の保健師がコアメンバーとして検討を行った。

3 成人・老人保健事業

介護老人保健施設に対し、サービスの質の確保、入所者の尊厳の保持、高齢者虐待防止法の趣旨をふまえ、看護及び栄養面等の実施指導を行った。

がん検診の受診率向上のため、がん及びがん検診に関する知識の習得を目的に管内健康推進員等を対象とした講習会を開催した。

(1) 介護サービス施設・事業所設置状況

管内には、介護老人保健施設20施設・訪問看護ステーション25施設がある。

(地域資料編に記載のとおり)

ア 介護老人保健施設実地指導

千葉県老人保健施設実地指導要綱に基づき、5施設について実地指導を行った。

表3- (1) -ア 介護老人保健施設実地指導状況

実 施 年 月 日	介 護 老 人 保 健 施 設
平成29年8月3日	さんふらわ (八街市)
平成29年8月30日	エクセレントケア志津 (佐倉市)
平成29年9月12日	セントアンナナーシングホーム (成田市)
平成29年9月27日	ユーカリ優都苑 (佐倉市)
平成29年10月12日	葵の園・佐倉 (佐倉市)

(2) がん検診推進員育成講習会

各市町村の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を図る。

表3- (2) がん検診推進員育成講習会

開 催 年 月 日	参 加 者 数	内 容
平成29年11月10日 (山武健康福祉センター担当)	64人	「おいしく減塩するための調理の工夫」 講師 淑徳大学看護栄養学部栄養学科 教授 石井 克枝氏 「自分の体は自分で守る～検診で見つかった二つのがん～」 講師 NPO法人「α」理事 土田 直子氏

※ 山武健康福祉センターとの輪番開催

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて、一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じ、的確な自己管理ができるよう、健康づくりの支援体制を充実することを目的としている。

(1) 健康教育事業

思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象に、性別やライフステージに応じた健康教室や講演会を開催する。

表4－(1) 健康教育事業

開催年月日	健康教室	参加人員
平成29年7月13日	「ストレスマネジメント ストレスと上手につきあうために」 講師 カウンセリングオフィスサンシャイン 代表カウンセラー (シニア産業カウンセラー) 理事長 美野 直子氏	152人

(2) 健康相談事業

身体的、精神的な悩みを有する思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象とし、電話相談に応じる。

表4－(2) 健康相談実施状況 (電話)

(単位：件)

年度 \ 区分	男性	女性	総数
平成27年度	33	48	81
平成28年度	38	68	106
平成29年度	128	75	203

5 総合的な自殺対策推進事業

自殺の多くは様々な悩みが複雑に関係し、心理的に追い込まれた末の死と考えられており、個人の問題として片づけられない社会的な要因が背景にあることから、社会全体で取り組むべき健康課題である。今後市町が各自治体ごとの自殺対策計画に基づき、地域に応じた対策を推進するため、研修を実施するとともに、各市町の取組状況や課題を議題として、管内市町担当者会議を開催し、関係機関の連携を図った。

また、管内のかかりつけ医と精神科医の医療連携を推進し、うつ病・うつ状態の方の早期発見・早期治療を目的として「うつ病連携パス」を作成し、平成25年12月から運用を開始している。さらに、行政等相談機関で把握した情報を医療機関と共有することで、相談者が医療機関を受診しやすくなることを目的とした情報提供書「相談内容連絡票」を作成し、行政相談窓口において活用を開始した。

(1) 研修会

表5－(1) 研修会の実施状況

名 称	実施年月日	参加者数・職種	内 容
自殺対策研修会	平成29年11月1日	19人 保健師、精神保健福祉士等	講演「精神疾患と自殺～その関連を知り、いかに予防するか～」 講師 志津クリニック院長 志津 雄一郎 氏

(2) 会議等

表5－(2) 会議等の開催状況

名 称	実施年月日	参加者数・職種	内 容
管内自殺対策担当者会議	平成29年11月1日	15人 保健師、社会福祉士、事務職等	議題 1 自殺対策に関する計画について 2 自殺未遂者への対応について 3 自殺予防対策の取り組みについて

(3) その他の事業

ア うつ病連携パス

うつ病・うつ状態の方の早期発見・早期治療を目的とし、管内のかかりつけ医と精神科医との連携を促進できるような紹介状の様式と運用枠組みを定めた「うつ病連携パス」を作成し、平成25年12月より運用を開始している。

また、平成27年1月からは、行政等における専門職が受けた相談内容を記載する医療機関への情報提供書「相談内容連絡票」を導入した。

イ 自死遺族支援

千葉いのちの電話による、わかちあいの会ひだまりを年6回（偶数月）に、個人対面相談を年6回（奇数月）に、当センターを会場に開催した。

(ア) わかちあいの会ひだまり 延15人

(イ) 個人対面相談 延3人

6 地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健の連携により、生活習慣病予防を中心とする各種保健事業の共同実施、地域保健関係施設等の相互活用等、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制の整備を推進する。平成 26 年度から平成 28 年度の 3 年間、「がんの早期発見・予防」をテーマに事業に取り組み、29 年度からは新たに「糖尿病重症化予防」をテーマとして掲げ、作業部会 2 回と協議会 1 回、共同事業として講演会を 1 回及び健康教育を延べ 4 回開催した。

表 6 - (1) 印旛地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
平成 30 年 1 月 19 日	28 人	1 平 28 年度事業報告と 29 年度事業計画について 2 糖尿病重症化予防の取り組みについて ・作業部会での検討結果 ・全国健康保険協会千葉支部からの報告 ・千葉県糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて ・今後三年間のスケジュール (案)

表 6 - (2) 印旛地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
平成 29 年 6 月 29 日	14 人	1 28 年度事業報告、29 年度事業計画案 2 平成 28 年度作成チラシ (がん検診御案内) 配布状況及び啓発活動について 3 今年度以降の取り組みについて
平成 29 年 11 月 14 日	15 人	1 糖尿病重症化予防の取り組みについて 2 特定健診・特定保健指導の実施状況について 3 共同事業 (講演会等) について

表 6 - (3) 共同事業開催状況

開催年月日	主な内容
平成 30 年 3 月 9 日	講演 「協会けんぽ千葉支部による中小企業向け喫煙対策プログラム」 講師 全国健康保険協会千葉支部 保健グループ 主任 池澤秀哲氏 対象 協議会委員及び所属団体・行政関係者等 参加 19 人

7 栄養改善事業

印旛管内ではメタボリックシンドローム予備群が多く、急速な高齢化が進んでおり、今後、循環器疾患に罹患する者が増加することが予想される。このような状況を踏まえ、地域における健康づくり事業の推進や食生活改善推進員等の研修・各種栄養関係団体の育成・給食施設指導を行い、生活習慣病を予防し地域における健康づくりを推進した。

また、難病や食習慣に起因する疾患の患者等を対象にQOLの向上を図るため、講演会を開催した。

(1) 健康増進（栄養・運動等）事業

地域の健康課題を踏まえて、地域における健康づくり推進事業の推進、健康づくりの担い手である食生活改善推進員及び各種栄養関係団体の育成を図った。

また、病態栄養指導として、炎症性腸疾患の患者・家族に対する講演会及び食物アレルギー講演会を開催した。

表7－（1）健康増進（栄養・運動等）指導状況

（単位：人）

		個別指導延人員								集団指導延人員						
		栄養指導	(再掲) 病態別栄養指導	(再掲) 訪問による栄養指導	運動指導	(再掲) 病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他	栄養指導	(再掲) 病態別栄養指導	運動指導	(再掲) 病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他
実施数	妊産婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	乳幼児	—	—	—	/	/	/	/	—	—	—	/	/	/	/	—
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児を除く)	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20歳以上 (妊産婦を除く)	21	8	—	—	—	—	—	1	—	458	89	—	—	—	—
(再掲)医療機関等へ委託	妊産婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	乳幼児	—	—	—	/	/	/	/	—	—	—	/	/	/	/	—
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児を除く)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20歳以上 (妊産婦を除く)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

参照（地域保健・健康増進事業報告作成要領）

ア 病態別個別指導

表7- (1) -ア 病態別個別指導状況

(単位：人)

種別	区分	計	生活習慣病	難病	アレルギー疾患	摂食障害	その他
病態別栄養指導		8	8	—	—	—	—
病態別運動指導		—	—	—	—	—	—

※生活習慣病は、がん・高血圧・心臓病・高脂血症・糖尿病・肥満・貧血に関する指導をした場合に計上する。

イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

表7- (1) -イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
食物アレルギー教室	平成29年 9月21日	食物アレルギーを持つ保護者、関係者等	43	講演体験発表 「食物アレルギーへの最新アプローチ～親と子のQOL向上を願って～」 講師 独立行政法人 国立病院機構 下志津病院 小児科・アレルギー科医師 鈴木修一氏 体験発表 特定非営利活動法人 千葉アレルギーネットワーク 副理事長 桐谷利恵氏
炎症性腸疾患患者・家族に対する講演会	平成29年 10月21日	神経難病患者とその家族	46	講演 「炎症性腸疾患の最新医療情報について」 講師 東邦大学医療センター佐倉病院 医師 竹内健氏

ウ 地域における健康づくり推進事業

表7- (1) -ウ 地域における健康づくり推進事業実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
地域における健康づくり推進事業	平成29年 10月20日	産業医、看護師、保健師、栄養士、食生活改善推進員、事業所の健康管理・安全衛生担当者	54	講演「良い肥満と悪い肥満～肥満のメカニズムと対策～」 講師 一般社団法人肥満症予防協会 副理事長 公益財団法人結核予防会 総合健診推進センター長 宮崎滋氏

エ 国民（県民）健康・栄養調査

表7－（1）－エ 国民（県民）健康・栄養調査状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日・調査内容等
国民健康・栄養調査	四街道市大日地区 19世帯 42人	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年11月6日 栄養摂取状況調査、生活習慣調査 平成29年11月8日 身体状況調査

オ 特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表7－（1）－オ－（ア）食品に関する表示相談・普及啓発実施状況

		業者への相談対応・普及啓発				
		相談（個別）		普及啓発（集団）		
		実相談食品数	延相談件数	回数	延対象者数	内容（講習会等）
特別用途食品及び特定保健用食品について		（－）	（－）	（－）	（－）	－
食品表示基準 について （保健事項）	栄養成分	29	45	1	33	講習会
	特定保健用食品	－	－	－	－	－
	栄養機能食品	－	－	－	－	－
	機能性表示食品	－	－	－	－	－
	その他※	－	－	－	－	－
健康増進法第31条第1項（虚偽誇大広告）		2	2	－	－	－
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		1	1	－	－	－
		県民への相談対応・普及啓発				
		相談（個別）		普及啓発（集団）		
		延相談件数	回数	延対象者数	内容（講習会等）	
特別用途食品及び特定保健用食品について		（－）	（－）	（－）	（－）	－
食品表示基準 について （保健事項）	栄養成分	－	－	－	－	－
	特定保健用食品	－	－	－	－	－
	栄養機能食品	－	－	－	－	－
	機能性表示食品	－	－	－	－	－
	その他※	－	－	－	－	－
健康増進法第31条第1項（虚偽誇大広告）		－	－	－	－	－
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		－	－	－	－	－

（ ）内は、特定保健用食品再掲

※ 栄養成分以外の内容だった場合（特保、栄養機能食品、機能性表示食品は除く）

表7－(1)－オ－(イ) 食品表示等に関する指導状況（表示違反への対応）

		指導状況（個別）	
		実指導食品数	延指導件数
食品表示基準（保健事項）について	栄養成分※	2（－）	3（－）
	機能性表示食品	－	－
	その他	－	－
健康増進法第31条第1項（虚偽誇大広告）		－	－
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		－	－

※ 栄養機能食品、特定保健用食品を含む（ ）内は、栄養機能食品、特定保健用食品再掲

表7－(1)－オ－(ウ) 特別用途食品許可取り扱い件数（単位：件）

内 容	取扱件数
新規許可申請受付	0（0）
消滅事由該当届出数	0（0）
申請・表示事項変更届出数	0（0）

（ ）内は、特定保健用食品再掲

表7－(1)－オ－(エ) 特別用途食品に対する検査・指導件数（単位：件）

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
16（16）	0（0）	0（0）

（ ）内は、特定保健用食品再掲

カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表7－(1)－カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個 別		集団指導		
内容	延人員	内容	延回数	延参加者数
国民健康・栄養調査による食事指導	21	－	－	－
		－	－	－

(2) 給食施設指導

管内給食施設は年々増加傾向にあり施設総数が351施設となった。そのうち、197施設に対して栄養管理及び衛生管理について食品衛生監視員と個別巡回指導を行った。

また、給食管理者及び従事者を対象に衛生管理を中心とした研修会と施設種別毎の研修会を開催して、給食管理、運営の向上を図った。

表7- (2) 給食施設状況 (単位：件)

施設 総数	管理栄養士 のみ いる施設		管理栄養士 栄養士どちらも いる施設			栄養士のみ いる施設		管理栄養士 栄養士 どちらも いない施設	管理栄養士 必置指定 施設		栄養成 分表示 施設	栄養 教育 実施 施設
	施 設 数	管 理 栄 養 士 数	施 設 数	管 理 栄 養 士 数	栄 養 士 数	施 設 数	栄 養 士 数		施 設 数	管 理 栄 養 士 数		
351	105	135	68	130	108	115	132	63	11	58	338	228

ア 給食施設指導状況

表7- (2) -ア 給食施設指導状況 (単位：件)

区 分			計	特定給食施設		その他の 給食施設
				1回300食以上 又は 1日750食以上	1回100食以上 又は 1日250食以上	
個別指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	199	60	95	44
		その他指導施設数	81	5	58	18
	喫食者への栄養・運動指導延人員		-	-	-	-
集団指導	給食管理指導	回数	4	4		
		延施設数	276	19	182	75
	喫食者への 栄養運動指導	回数	-	-	-	-
		延人員	-	-	-	-

イ 給食施設個別巡回指導

表7-(2)-イ 給食施設個別巡回指導状況

	施設数	総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況							
				管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみ いる施設		どちらもいない 施設	
				施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)
計	計	351	199	105	65	68	50	115	53	63	31
	学校	73	51	41	30	5	5	25	15	2	1
	病院	30	30	7	7	23	23	-	-	-	-
	介護老人保健施設	19	9	8	2	11	7	-	-	-	-
	老人福祉施設	47	27	20	12	21	12	6	3	-	-
	児童福祉施設	101	46	18	7	5	2	59	26	19	11
	社会福祉施設	16	6	2	1	-	-	12	4	2	1
	事業所	47	20	4	3	1	-	10	3	32	14
	寄宿舎	8	4	3	2	-	-	1	-	4	2
	矯正施設	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	9	5	2	1	2	1	2	2	3	1	
300食/回, 750食/日以上 ①	計	75	60	38	33	16	15	21	12	-	-
	学校	54	45	33	28	5	5	16	12	-	-
	病院	13	13	3	3	10	10	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童福祉施設	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業所	7	2	2	2	1	-	4	-	-	-
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
100食/回, 250食/日以上 ①(除く)	計	182	95	53	24	40	28	59	27	30	16
	学校	17	6	7	2	-	-	8	3	2	1
	病院	11	11	3	3	8	8	-	-	-	-
	介護老人保健施設	17	8	7	2	10	6	-	-	-	-
	老人福祉施設	32	20	14	9	17	11	1	-	-	-
	児童福祉施設	64	31	17	7	3	2	37	17	7	5
	社会福祉施設	4	2	-	-	-	-	4	2	-	-
	事業所	28	13	2	1	-	-	6	3	20	9
	寄宿舎	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-
	矯正施設	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	6	3	2	-	2	1	2	2	-	-	
その他の給食施設	計	94	44	14	8	12	7	35	14	33	15
	学校	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
	病院	6	6	1	1	5	5	-	-	-	-
	介護老人保健施設	2	1	1	-	1	1	-	-	-	-
	老人福祉施設	15	7	6	3	4	1	5	3	-	-
	児童福祉施設	36	15	1	-	2	-	21	9	12	6
	社会福祉施設	12	4	2	1	-	-	8	2	2	1
	事業所	12	5	-	-	-	-	-	-	12	5
	寄宿舎	6	4	2	2	-	-	-	-	4	2
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	3	2	-	1	-	-	-	-	3	1	

ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導

表7－（2）－ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導（単位：件）

	給食施設開始（再開）	給食施設廃止（休止）	給食施設変更届
届出数	17	15	75
指導数	36	16	78

エ 給食施設集団指導

表7－（2）－エ 給食施設集団指導状況

名称	開催年月日	対象者	参加者数	内容
給食施設管理者・ 従事者研修会 (児童福祉施設・ 事業所等)	平成29年 6月22日	学校・児童福祉施設・事業所・寄宿舎 給食施設の管理者・ 従事者	110	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「給食施設の衛生管理」 講師 印旛健康福祉センター 食品機動監視課 食品衛生監視員 ・講話「千葉県の食生活の現状と課題」 講師 印旛健康福祉センター 地域保健課 栄養指導員
給食施設管理者・ 従事者研修会 (病院・福祉施設 等)	平成29年 6月23日	病院・介護老人保健施設・老人福祉施設・社会福祉施設・矯正施設・その他 給食施設の管理者・ 従事者	110	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「給食施設の衛生管理」 講師 印旛健康福祉センター 食品機動監視課 食品衛生監視員 ・講話「千葉県の食生活の現状と課題」 講師 印旛健康福祉センター 地域保健課 栄養指導員
病院・福祉施設等 給食施設従事者 研修会	平成30年 1月18日	病院・介護老人保健施設・老人福祉施設・社会福祉施設・その他給食施設の 管理者・従事者	66	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「高齢者糖尿病の栄養管理」 講師 東京都健康長寿医療センター 内科総括部長 荒木厚 氏 ・情報提供「管内病院・福祉施設等給食施設でのビタミン類等の給与状況」
児童福祉施設 給食従事者研修 会	平成30年 2月9日	児童福祉施設の 栄養管理・給食管理 担当者	47	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「乳幼児の発達状況に合わせた支援と栄養管理」 講師 印旛健康福祉センター 地域保健課 栄養指導員 ・事例発表 <ul style="list-style-type: none"> ①「対象児の発達状況に合わせた食事の提供について」 発表者 こひつじ保育園 栄養士 ②「給食における個別対応の管理方法について」 発表者 佐倉市立北志津保育園 栄養士 ・グループ討議「対象児に合わせた食事の提供と給食管理の方法」

(3) 健康ちば協力店推進事業

表7- (3) -ア 健康ちば協力店登録状況

平成28年度登録件数			累計状況	
登録件数	変更件数	取消件数	登録累計数	実登録店舗数
0	0	0	24 (内取消7)	17

表7- (3) -イ 健康ちば協力店推進事業実施状況

区分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回数	延人員	回数	延店舗数	延人員	回数	延人員
個別指導	0	0	0	0	0	0	0
集団指導	2	517	0	0	0	-	174
合計	2	517	0	0	0	-	174

(4) 栄養関係団体等への育成・支援

表7- (4) 栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名称	会員数及び加入組織数	活動内容	育成内容	延育成人員
印旛保健所管内食生活改善協議会	225人	住民の健康と福祉の増進、組織相互の連絡	総会・役員会の出席、研修会開催支援	71
印旛郡市集団給食管理者協議会	29施設	総会、研修会、役員会	総会・役員会の出席、研修会開催支援	43
印旛保健所管内栄養士会	85人	会員の資質の向上、会員相互の親睦	総会・役員会の出席、研修会開催支援	100
印旛保健所管内調理師会	32人	会員の資質の向上、食生活向上への寄与	総会出席、調理師大会の出席	32

(5) 市町村への技術・助言支援等

表7-(5)-ア 市町村への技術支援、助言

名 称	開催月日	対象者	参加者数	内 容
印旛郡市保健指導者研究会栄養士部会役員会	平成29年	栄 養 士 部 会 役 員	各4	栄養士部会年間の運営について 研究会企画・部会予算について 部会予算・次年度計画について 部会報告書(決算・実績)について
	5月8日			
	7月3日			
	11月13日			
	平成30年			
2月19日				

表7-(5)-イ 管内行政栄養士研究会等の開催状況

名 称	延回数	延参加人員	主な内容
印旛郡市保健指導者研究会栄養士部会	4回	81	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回(6月12日) (1)業務検討「減塩に関する取り組みについて」 (2)講演「お酒の減塩効果について」及び減塩[®]の紹介 ●第2回(8月21日) (1)業務検討「乳幼児期の栄養指導について」 (2)講演「小児肥満を含む子ども達の現状とその食生活指導について」 ●第3回(12月11日) (1)業務検討「生活習慣病の予防について」 (2)講演「アイスブレーキング手法について」 ●第4回(2月13日) (1)業務検討「推進員活動について」 (2)平成30年度実績・平成31年度計画について

※ 市町村(在宅)栄養士研修会を含む

(6) 調理師試験及び免許関係

表7-(6) 調理師試験及び免許取扱状況 (単位:名)

年 度	調 理 師 試 験			免 許 交 付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
平成27年度	185	111	60.0	209	41	32
平成28年度	166	125	75.3	224	43	31
平成29年度	114	91	79.8	174	27	30

8 歯科保健事業

口腔保健に関する普及啓発事業を歯科医師会・教育庁等と連携し、実施した。

(1) 難病及び精神障害者等歯科保健サービス

表8- (1) 難病及び精神障害者等歯科保健サービス実施状況

名称	対象者	開催月日	内容	参加人員
平成29年度 実施なし				

(2) その他 (各保健所の独自事業)

表8- (2) その他 (各保健所の独自事業)

名称	対象者	開催月日	内容	参加人員
歯の衛生週間 審査会・表彰式	印旛郡市 在住 小中学生等	平成28年 6月9日	よい歯の表彰及び 歯科に関する作品の表彰 (主催) 印旛郡市歯科医師会 印旛保健所 千葉県教育庁北総教育事務所	表彰 対象者 449人
むし歯予防大会 (歯ッピーかみんぐ フェア)	地域住民	平成28年 10月30日	・歯科医師・歯科衛生士による健診、 相談 ・在宅介護、介護保険に関する相談 ・骨密度測定や健康相談 ・がん検診推進、禁煙推進 (共催及び後援) 佐倉市教育委員会 印旛保健所 佐倉地区医師会 佐倉市薬剤師会	健康相談 41人 スモーカー ライザー 測定 17人

9 精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、保健所は精神保健福祉行政の第一線機関として位置付けられおり、法律に基づく入院事務等の業務と併せ精神保健福祉相談員や看護師等による相談及び訪問をベースに専門性や広域での連携や調整が必要な事項について市町村、医療機関、障害福祉サービス事業所等の地域の支援機関と連携を図り受療援助、精神障害者の社会復帰支援、普及啓発など地域精神保健福祉活動を実施した。

また、管内市町の精神保健福祉業務への技術支援等を行っており、管内精神保健福祉連絡協議会や、関係者連絡会議・担当者会議のほか、市町の開催する会議等にも参画・協力している。

(1) 管内精神科病院と入院等の状況

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部改正で、平成26年4月から保護者制度の廃止とともに、医療保護入院制度の見直しが図られている。

表9－(1)－ア 管内病床数・入院患者の状況（平成29年6月30日現在）

区分 年度 市町村	管内人口 (人)	精神科病院数	病床数 (床)	人口万対病床数	入院患者数 (人)	人口万対入院患者数	管内の患者の入院先(再掲)					
							圏内の病院への入院患者数				圏外の病院への入院患者数	
							管内病院		管外病院			
							人	%	人	%	人	%
平成27年度	708,327	6	1,520	21.5	1,053	14.9	659	62.6	0	0.0	394	37.4
平成28年度	712,026	6	1,520	21.3	1,086	15.3	680	62.6	0	0.0	406	37.4
平成29年度	713,989	6	1,520	21.3	1,057	14.8	680	64.3	0	0.0	377	35.7
成田市	132,330	4	1,005	75.9	262	19.8	246	93.9	0	0.0	16	6.1
佐倉市	172,154	0	0	0.0	251	14.6	131	52.2	0	0.0	120	47.8
四街道市	90,457	0	0	0.0	92	10.2	34	37.0	0	0.0	58	63.0
八街市	69,370	1	180	25.9	124	17.9	88	71.0	0	0.0	36	29.0
印西市	96,109	1	335	34.9	133	13.8	84	63.2	0	0.0	49	36.8
白井市	62,112	0	0	0.0	65	10.5	7	10.8	0	0.0	58	89.2
富里市	49,862	0	0	0.0	68	13.6	49	72.1	0	0.0	19	27.9
酒々井町	20,805	0	0	0.0	28	13.5	21	75.0	0	0.0	7	25.0
栄町	20,790	0	0	0.0	34	16.4	20	58.8	0	0.0	14	41.2
県全体	6,239,018	52	12,616	20.2	8,719	14.0	5,929	68.0	617	7.1	2,284	26.2

※ 人口は、各年7月1日現在(千葉県毎月常住人口調査による)

表9－（1）－イ 管内病院からの届出等の状況

(単位：件)

種別 年度	医療保護 入院届 (家族等の 同意)	医療保護 入院届 (扶養義務 者の同意)	応 急 入院届	医療保護 入院届の 退院届	措置症状 消退届	措置入院 定期病状 報告書	医療保護 入院定期 病状報告	その他
平成27年度	472		3	455	38	14	474	19
平成28年度	517		6	500	49	20	491	15
平成29年度	508		0	493	62	14	481	14

※ その他は、転院許可申請 10 件、仮退院申請 2 件、再入院届 2 件の合計

※ 平成 26 年度より保護者制度廃止に伴い、「医療保護入院届（保護者の同意）」の保護者を家族等（扶養義務者含む）に読み替え件数を計上している。

(2) 措置入院関係

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 22 条から 26 条における申請・通報・届出を受理し事前調査を経て、診察の必要性がある場合には精神保健指定医の診察を実施した。

表9－（2）－ア 申請・通報・届出及び移送処理状況

(単位：件)

処 理 申請通報等の別	申請・ 通報 届出	診察の必要 がないと認 めた者	法第27条の診察を受けた者			法第29条の2の診察を受けた者			法第29条の2の2の 移送業務		
			法第29条 該当症状 の者	その他の 入院形態	通院・ その他	法第29条 の2該当症 状の者	その他の 入院形態	通院・ その他	1次 移送	2次 移送	3次 移送
平成27年度	425	362	37	3	2	19	0	10	0	2	8
平成28年度	426	352	61	3	2	22	3	5	0	1	32
平成29年度	325	259	56	3	4	8	0	3	0	0	36
法第22条 一般人からの申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第23条 警察官からの通報	300	244	46	0	7	8	0	3	0	0	36
法第24条 検察官からの通報	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	1
法第25条 保護観察所の長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条 矯正施設の長からの通報	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の2 精神科病院管理者からの届出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の3 医療観察法に基づく指定医療機関管 理者及び保護観察所長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第27条第2項 申請通報に基づかない診察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 「申請・通報・届出件数」は受理日で集計

※ 「法第 29 条の 2 該当症状の者」は、法第 27 条の診察を受けた者の内数

※ 1 次・2 次移送は、診察までの移送、3 次は措置決定後の病院までの移送

表9－(2)－イ 措置診察を受けた対象者の病名

(単位：件)

年 度 結 果	病 名	総 数	統 合 失 調 症 等	気 分 障 害	器 質 性 精 神 障 害		中 毒 性 精 神 障 害			神 経 症 性 障 害 等	パ ー ソ ナ リ テ イ 障 害	知 的 障 害	て ん か ん	そ の 他 の 精 神 障 害	そ の 他				
					認 知 症	そ の 他	ア ル コ ー ル	覚 せ い 剤	そ の 他										
					F0		F1									F4	F6	F7	G40
					F00 ～ F03	F04 ～ F09	F10	F15											
平成27年度	70	30	7	5	0	2	7	1	0	3	1	0	7	7					
平成28年度	96	68	9	1	1	1	0	9	2	2	1	0	1	1					
平成29年度	76	60	6	4	4	1	1	0	1	1	0	0	0	1					
診 察 実 施	要 措 置	66	55	4	4	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0				
	不 要 措 置	10	5	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1				

※ 緊急措置診察を受け不要措置となった者の病名も含み、その他には病名不詳を含む。

※ F0～F9、G40は、世界保健機関（WHO）の国際疾病分類（ICDカテゴリー）の分類

表9－(2)－ウ 管内病院における入院期間別措置入院患者数（各年3月31日現在）

(単位：人)

入 院 期 間	総 数	6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
平成27年度	6	2	1	2	1
平成28年度	15	14	0	0	1
平成29年度	11	10	1	0	0

表9－(2)－エ 申請・通報・届出関係の相談等（各年3月31日現在）

(単位：人)

性・年齢	実 数	性			年 齢					(延 回 数)
		男	女	不 明	20歳 未 満	20歳 ～ 39歳	40歳 ～ 64歳	65歳 以 上	不 明	
相 談	10	4	6	0	1	6	3	0	0	23
訪 問	96	46	50	0	6	31	41	18	0	342
電 話	319	139	180	0	18	113	147	41	1	2,434

(3) 医療保護入院のための移送（法34条）

指定医の診察の結果、精神障害者であり直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図る上で著しく支障があり家族等の同意がある場合応急指定病院に移送することができる。

表9－（3）医療保護入院のための移送処理状況

（単位：件）

年度 \ 区分	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
平成27年度	0	0	0
平成28年度	0	0	0
平成29年度	0	0	0

(4) 自立支援医療（精神通院）及び保健福祉制度関係

障害者総合支援法により市町村が窓口となり、通院医療費公費負担制度が自立支援医療として規定され、また精神保健福祉手帳により各種福祉サービスの利用が可能となっている。

表9－（4）－ア 自立支援医療（精神通院医療）利用者数（各年3月31日時点）

（単位：人）

年 度 ・ 市 町 村	利 用 者 数
平 成 27 年 度	8,520
平 成 28 年 度	8,968
平 成 29 年 度	9,437
成 田 市	1,546
佐 倉 市	2,600
四 街 道 市	1,246
八 街 市	1,104
印 西 市	1,050
白 井 市	787
富 里 市	565
酒 々 井 町	280
栄 町	259

表9－(4)－イ 精神障害者保健福祉手帳所持者数 (各年3月31日現在)

(単位：人)

年度・市町村	計	1級	2級	3級
平成27年度	4,300	618	2,684	998
平成28年度	4,698	687	2,947	1,064
平成29年度	5,062	731	3,113	1,218
成田市	1,084	114	701	269
佐倉市	1,312	240	809	263
四街道市	683	111	396	176
八街市	577	78	368	131
印西市	490	62	286	142
白井市	355	48	209	98
富里市	280	35	177	68
酒々井町	149	27	82	40
栄町	132	16	85	31

表9－(4)－ウ 精神障害者福祉関係諸手続きの状況

(単位：件)

年度	生計同一証明書 常時介護証明書 発行件数	社会適応訓練 申込書受理件数
平成27年度	39	1
平成28年度	43	0
平成29年度	53	0

(5) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第47条により、精神保健福祉相談員等又は医師をして精神障害者及び家族等からの相談に対し相談・訪問・電話等に対応している。

表9－(5)－ア 精神科嘱託医による定例相談

実施日	時間	場所
毎月 第3 月曜日	13:30～16:00	印旛健康福祉センター
毎月 第4 火曜日	14:00～16:00	
不定期木曜日	14:00～16:00	
毎月 第4 金曜日	14:00～16:00	印旛健康福祉センター成田支所

表9－(5)－イ 対象者の性・年齢

(単位：人)

性・年齢 区分	実数	性			年 齢					(延回数)
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
平成27年度	356	198	158	0	22	108	167	59	0	528
平成28年度	282	146	134	2	18	89	135	34	6	665
平成29年度	225	119	103	3	9	82	88	37	9	523
成田市	26	15	11	0	1	14	9	2	0	69
佐倉市	82	35	46	1	2	27	35	13	5	194
四街道市	24	12	12	0	2	7	10	4	1	43
八街市	36	23	13	0	3	8	13	11	1	62
印西市	14	7	7	0	0	7	5	2	0	24
白井市	5	2	3	0	0	2	2	1	0	12
富里市	11	8	3	0	1	5	4	1	0	35
酒々井町	11	5	6	0	0	4	5	3	0	49
栄町	5	4	1	0	0	3	1	2	0	20
管外・不明	11	8	1	2	0	5	4	0	2	15
相談	166	87	76	3	8	62	63	24	9	363
訪問	59	32	27	0	1	20	25	13	0	160

※ 同一人により相談を3回・訪問を2回した場合、相談実数1、訪問実数1、計2となり、延回数は5回となる。

※ 電話相談は計上していない。

表9－(5)－ウ 電話・メール相談延件数

(単位：件)

	計	男性	女性	不明
電話	2,513	1,209	1,285	19
メール	38	19	19	0

表9－(5)－エ 相談の種別 (延数)

(単位：件)

種別 区分	総数	精神障害に関する相談				中毒性精神障害に関する相談			ギャンブルの相談	摂食障害の相談	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	てんかん	その他の相談	
		関診する療科ごとに	社会復帰等	生活支援	その他の相談	アルコール	覚せい剤	その他の中毒								
平成27年度	525	231	36	102	19	14	38	6	5	7	12	3	36	1	15	
平成28年度	526	106	23	89	220	7	0	0	3	0	35	10	28	0	5	
平成29年度	523	106	23	89	220	7	0	0	3	0	35	10	28	0	2	
相談	計	363	68	8	73	140	7	0	0	3	0	35	9	18	0	2
	男	197	31	3	43	66	7	0	0	3	0	30	9	4	0	1
	女	163	36	5	29	73	0	0	0	0	0	5	0	14	0	1
	不明	3	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	計	160	38	15	16	80	0	0	0	0	0	1	10	0	0	
	男	88	16	9	12	47	0	0	0	0	0	1	3	0	0	
	女	72	22	6	4	33	0	0	0	0	0	0	7	0	0	

表9－(5)－オ 援助の内容 (延数)

種別 年度	総数	医学的指導	受療援助	生活生活指導	社会復帰援助	紹介・連絡	方関係機関協議調整	その他
平成27年度	1,572	68	224	161	33	422	368	296
平成28年度	665	24	12	156	13	158	193	109
平成29年度	527	32	17	130	16	74	114	144

(単位：件)

※ 援助内容は重複あり

(6) 精神障害者社会復帰関係

社会復帰相談指導事業におけるデイケアクラブは平成26年度をもって終了。平成27年度はデイケアクラブOB交流会を3回開催した。平成28年度よりピアサポート講座開催とピアサポートグループへの会場提供を行い、平成29年度よりピア相談を開始した。

表9-(6)-ア デイケアクラブ

実施日	時間	内容
開催無し		

区分 年度	開催回数 (回)	参加者(人)					
		実人員			延人員		
		計	男	女	計	男	女
平成27年度	3	8	3	5	13	5	8
平成28年度	0	—	—	—	—	—	—
平成29年度	0	—	—	—	—	—	—

表9-(6)-イ デイケアクラブの活動状況

※ 平成27年度はOB交流会

表9-(6)-ウ ピアサポート講座

実施日	内容	講師	参加人数
平成29年12月13日	家庭内傾聴～聴く力と発信する力を伸ばすには～	MTネットワーク家庭内傾聴ファシリテーター 土佐実也恵氏	13人
平成30年1月17日	ピアサポートミーティングを体験しよう	ピアサポートグループ「ICHI-JO」ピアサポーター 小沢弘氏、染谷哲夫氏、鈴木智子氏	14人
平成30年2月21日	ピアスタッフの活動について	就労継続支援B型事業所かりん ピアスタッフ戸辺博之氏	19人
		延べ参加者数	46人
		終了書授与者(全3回出席者)	8人

表9-(6)-エ ピアサポート相談

実施日	内容	講師	参加人数
平成29年4月26日	家族相談(父)	ピアサポーター 波田野真嶺氏 他2名	1人
平成29年8月10日	家族相談(父)	ピアサポーター 波田野真嶺氏 他2名	1人

(7) 地域精神保健福祉関係

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第46条により、精神障害についての正しい知識の普及等を目的とした会議・講演会・家族教室等を実施した。

表9-(7)-ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	開催日	参加人数 (人)	対象者等
印旛地域精神保健福祉連絡協議会	年1回	32	管内関係機関職員

※ 精神障害者地域移行支援協議会へ年3回出席

表9-(7)-イ 家族教室・断酒教室・ボランティア講座・心の健康市民講座等

教室・講座等の名称	開催日	受講者数 (人)		内 容
		実数	延数	
精神障害者家族交流会	平成29年9月29日	30	30	講演 「経験者から家族へのメッセージ ～直接はなかなか言えない親に対する本音を中心に～」

表9-(7)-ウ 組織育成

(単位：件)

種別 区分	総 数	家族会	断酒会	その他 (当事者グループ)
支援延件数	19	7	0	12

(8) 心神喪失者等医療観察法関係

平成17年度より医療観察法が施行されたことに伴い、当健康福祉センターからも関係機関との連携強化や地域処遇方針の共有等の目的のため各会議に出席している。

表9-(8) 医療観察法に係る会議への参加

(単位：件)

会議種別	CPA会議	ケア会議	その他
参加回数	9	15	0

※ 平成17年から医療観察法が施行されたことに伴い、健康福祉センター（保健所）においても各種会議への参加等が求められている。

※ 「その他」は、CPA 会議（CARE PROGRAMME APPROACH の略）とケア会議以外の会議に参加した者を計上している。

10 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度からインターフェロン治療、平成22年度から核酸アナログ製剤治療、平成23年度からインターフェロン3剤併用療法への医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象に追加された。

平成29年度にはインターフェロンフリー治療における助成対象薬剤がさらに拡大した。平成29年11月に「マヴィレット配合錠（一般名：グレカプレビル水和物/ピブレンタスビル配合剤）」が、次いで平成30年2月に「ハーボニー配合錠（一般名：レジパスビル/ソホスビル配合剤）」が新たな対象薬剤となった。

表10－(1) 肝炎治療特別促進事業受給者状況 (単位：人)

年度・市町村	治療	核酸アナログ製剤	インターフェロン	インターフェロンフリー
平成27年度		278	16	453
平成28年度		312	1	238
平成29年度		329	2	163
成田市		30	0	32
佐倉市		87	0	29
四街道市		41	0	16
八街市		42	0	23
印西市		52	0	18
白井市		37	1	16
富里市		17	1	20
酒々井町		13	0	8
栄町		10	0	1

表 1 1 - (2) 指定難病医療費助成制度受給者状況

(単位 : 件)

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）	平成	平成	平成	成田市	佐倉市	四街道市	八街市	印西市	白井市	富里市	酒々井町	栄町
	27 年度	28 年度	29 年度									
総数	5,080	5,294	4,855	821	1,375	637	432	601	358	324	161	146
1 球脊髄性筋萎縮症	9 2	7 1	9 0	2 0	0 0	1 0	1 0	3 0	2 0	0 0	1 0	0 0
2 筋萎縮性側索硬化症	35 18	41 20	44 19	10 7	5 3	8 2	3 1	5 0	8 6	3 0	1 0	1 0
3 脊髄性筋萎縮症	5 5	4 4	5 2	1 0	4 2	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
4 原発性側索硬化症	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
5 進行性核上性麻痺	30 11	35 11	34 5	5 0	9 1	3 1	3 0	4 2	0 0	2 0	8 1	0 0
6 パーキンソン病	674 123	727 130	738 214	120 34	239 63	82 26	53 16	85 29	52 14	53 20	30 7	24 5
7 大脳皮質基底核変性症	14 4	18 5	19 3	4 0	2 0	7 1	0 0	1 0	1 1	3 1	0 0	1 0
8 ハンチントン病	5 1	5 1	7 0	0 0	2 0	3 0	0 0	0 0	0 0	1 0	1 0	0 0
10 シャルコー・マリー・トゥース病	6 0	8 0	7 0	0 0	3 0	1 0	1 0	0 0	0 0	1 0	0 0	1 0
11 重症筋無力症	120 3	118 4	118 24	15 1	31 10	16 3	13 4	11 1	16 3	6 0	4 1	6 1
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	96 19	101 23	87 38	16 6	24 11	9 6	7 3	17 5	6 3	2 0	3 2	3 2
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	24 1	24 1	18 6	3 1	4 3	2 1	1 1	3 0	2 0	2 0	1 0	0 0
15 封入体筋炎	2 0	2 0	4 1	0 0	0 0	3 1	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0
17 多系統萎縮症	63 20	68 22	59 24	9 3	15 6	8 6	7 2	7 1	7 3	2 1	2 1	2 1
18 脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	182 88	182 85	180 26	27 0	58 8	26 8	18 4	17 1	9 2	20 2	5 1	0 0
19 ライツゾーム病	3 0	3 0	5 3	0 0	3 2	0 0	2 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）	平成	平成	平成	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
	27 年 度	28 年 度	29 年 度									
20 副腎白質ジストロフィー	1 0	1 0	1 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
21 ミトコンドリア病	6 3	6 3	5 1	3 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	1 0
22 もやもや病	92 18	97 18	62 3	13 1	16 0	6 1	5 1	8 0	6 0	4 0	3 0	1 0
23 プリオン病	3 1	2 2	1 1	0 0	1 1	0 0	0 0	0 1	0 0	0 0	0 0	0 0
26 HTLV-1 関連脊髄症	5 0	6 0	6 3	0 0	4 3	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0
28 全身性アミロイドーシス	9 0	8 1	9 4	2 1	2 2	2 0	0 0	0 0	0 0	1 1	2 0	0 0
30 遠位型ミオパチー	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
34 神経線維腫症	16 3	15 3	15 0	3 0	7 0	0 0	2 0	1 0	2 0	0 0	0 0	0 0
35 天疱瘡	21 1	22 1	14 1	2 0	3 0	2 1	1 0	1 0	2 0	1 0	0 0	2 0
36 表皮水疱症	2 0	2 0	1 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
37 膿疱性乾癬（汎発型）	7 0	7 0	6 1	0 0	1 0	1 0	0 0	3 0	0 0	0 0	0 0	1 1
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	1 1	2 1	2 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0
40 高安動脈炎	29 6	31 5	25 9	5 1	9 4	2 0	0 0	3 0	4 2	2 2	0 0	0 0
41 巨細胞性動脈炎	1 0	2 0	6 1	0 0	4 1	0 0	0 0	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0
42 結節性多発動脈炎	14 1	12 1	13 4	4 1	3 2	1 0	0 0	2 1	2 0	0 0	1 0	0 0
43 顕微鏡的多発血管炎	37 1	43 1	41 11	9 1	12 5	11 3	4 1	2 0	2 0	1 1	0 0	0 0
44 多発血管炎性肉芽腫症	18 1	20 3	18 6	4 0	3 1	2 0	4 2	4 3	0 0	0 0	0 0	1 0

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）	平成	平成	平成	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
	27 年 度	28 年 度	29 年 度									
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	8 0	13 1	15 5	2 0	5 1	2 1	2 1	1 1	3 1	0 0	0 0	0 0
46 悪性関節リウマチ	34 12	34 13	33 17	7 4	4 2	5 3	4 1	9 5	1 0	3 2	0 0	0 0
47 バージャー病	31 2	30 2	18 2	5 0	5 2	1 0	0 0	1 0	4 0	1 0	0 0	1 0
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	2 0	2 0	2 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0
49 全身性エリテマトーデス	393 24	389 27	351 92	60 21	88 20	51 12	34 11	45 14	28 7	20 3	6 0	19 4
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	99 3	100 5	99 27	17 7	25 5	12 2	8 3	12 2	9 3	10 3	3 1	3 1
51 全身性強皮症	134 4	139 5	125 35	8 4	46 10	14 6	5 2	14 2	9 2	9 3	10 3	10 3
52 混合性結合組織病	72 3	68 3	63 18	11 2	13 3	11 4	11 4	8 2	4 1	3 2	2 0	0 0
53 シェーグレン症候群	11 0	19 0	26 5	4 1	10 2	5 2	1 0	2 0	2 0	1 0	1 0	0 0
54 成人スチル病	12 0	16 1	21 6	3 1	9 1	0 0	5 4	1 0	1 0	0 0	0 0	2 0
55 再発性多発軟骨炎	2 0	2 0	2 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 1	0 0	1 0
56 ベーチェット病	123 11	123 12	100 28	17 4	29 10	12 5	14 3	11 3	6 1	6 1	4 1	1 0
57 特発性拡張型心筋症	135 25	138 28	119 32	25 9	31 7	23 6	6 2	12 2	7 2	8 2	4 1	3 1
58 肥大型心筋症	15 4	13 3	10 2	0 0	4 1	3 1	1 0	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0
60 再生不良性貧血	66 2	68 3	59 19	16 5	13 5	4 1	7 1	6 3	2 1	6 1	3 2	2 0
61 自己免疫性溶血性貧血	4 0	7 0	7 1	2 1	1 0	0 0	2 0	1 0	0 0	1 0	0 0	0 0
63 特発性血小板減少性紫斑病	110 1	113 2	76 23	19 4	14 3	13 5	8 3	8 3	4 1	3 2	2 0	5 2

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）	平成	平成	平成	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
	27 年 度	28 年 度	29 年 度									
64 血栓性血小板減少性紫斑病	0 0	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
65 原発性免疫不全症候群	9 1	11 1	12 5	3 1	4 2	1 1	1 1	0 0	0 0	3 0	0 0	0 0
66 IgA 腎症	49 1	48 1	57 4	7 0	26 2	8 1	6 0	5 1	4 0	0 0	1 0	0 0
67 多発性嚢胞腎	18 2	28 4	31 17	4 1	9 6	4 3	2 1	6 2	3 2	3 2	0 0	0 0
68 黄色靭帯骨化症	20 1	20 1	24 1	7 0	4 0	2 0	2 0	3 0	2 1	3 0	0 0	1 0
69 後縦靭帯骨化症	248 28	236 27	211 10	46 2	44 2	30 2	23 1	21 2	16 0	17 1	7 0	7 0
70 広範脊柱管狭窄症	38 9	41 9	43 3	6 2	9 1	9 0	1 0	6 0	3 0	7 0	2 0	0 0
71 特発性大腿骨頭壊死症	79 1	100 1	95 9	25 3	23 4	10 0	5 1	11 1	8 0	10 0	1 0	2 0
72 下垂体性 ADH 分泌異常症	7 0	8 0	8 1	1 0	2 0	1 1	1 0	2 0	0 0	0 0	1 0	0 0
74 下垂体性 PRL 分泌亢進症	17 0	17 0	12 1	1 0	2 0	0 0	3 0	2 0	0 0	1 0	3 1	0 0
75 クッシング病	1 0	1 0	1 1	0 0	0 0	1 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	20 0	20 0	21 5	4 1	6 2	3 0	2 0	3 2	2 0	1 0	0 0	0 0
78 下垂体前葉機能低下症	57 2	69 2	61 12	9 0	15 3	9 2	4 1	15 5	1 0	3 0	3 1	2 0
80 甲状腺ホルモン不応症	0 0	1 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
81 先天性副腎皮質酵素欠損症	3 0	4 0	5 0	1 0	2 0	0 0	0 0	0 0	2 0	0 0	0 0	0 0
84 サルコイドーシス	98 10	96 9	60 3	10 1	19 1	5 0	10 0	7 1	2 0	5 1	1 0	1 0
85 特発性間質性肺炎	39 1	55 3	61 22	8 4	25 9	11 4	7 1	3 2	2 1	3 0	0 0	2 1

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）	平成	平成	平成									
	27 年度	28 年度	29 年度	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
236 偽性副甲状腺機能低下症	1 0	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
240 フェニルケトン尿症	0 0	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0
271 強直性脊椎炎	3 0	8 2	12 7	2 1	5 4	0 0	1 1	3 1	0 0	0 0	1 0	0 0
283 後天性赤芽球癆	2 0	4 0	4 2	1 1	0 0	0 0	0 0	3 1	0 0	0 0	0 0	0 0
285 ファンコニ貧血	0 0	1 0	3 0	0 0	0 0	0 0	0 0	3 0	0 0	0 0	0 0	0 0
292 総排泄腔外反症	0 0	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0
296 胆道閉鎖症	1 0	1 0	1 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
300 I g G 4 関連疾患	2 0	5 0	8 2	3 0	3 0	0 0	1 1	1 1	0 0	0 0	0 0	0 0
306 好酸球性副鼻腔炎	18 1	31 1	46 4	6 0	14 0	3 0	6 2	9 2	1 0	0 0	2 0	5 0

※ 疾患番号 111～306 は平成 27 年 7 月 1 日施行

(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表11-(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況 (単位:人)

年度	総 数	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
平成27年度	20	5	5	3	2	3	0	0	0	2
平成28年度	20	5	5	3	3	3	0	0	0	1
平成29年度	17	4	3	3	3	3	0	0	0	1

(4) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表11-(4)-ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況 (単位:人)

区分 年度	支援計画 策定 実施件数	支援計画 評価 実施件数	構 成 員					
			専 門 医	家 庭 医	看 護 師	理 学 療 法 士	保 健 師	そ の 他
平成27年度	4	1	2	-	2	-	9	25
平成28年度	3	1	-	1	3	-	8	17
平成29年度	6	1	1	-	15	2	15	23

イ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

表11-(4)-イ-(ア) 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人 数	回 数	実 人 員	延 人 員
平成27年度	3	33	13	33
平成28年度	4	38	10	38
平成29年度	4	36	13	36

(イ) 訪問相談員育成事業

表 1 1 - (4) - イ - (イ) 訪問相談員育成事業実施状況

区分 年度	月 日	主 な 内 容	職 種	人 数
平成 27 年度	平成 27 年 4 月 27 日 ・ 28 日 平成 27 年 10 月 20 日	訪問事例カンファレンス開催 神経難病講演会に従事	保健師	4
平成 28 年度	平成 29 年 2 月 2 日	医療費助成制度や神経難病、難病患者の心理等に関する講演	訪問相談員（看護師）のほか、介護支援専門員等地域の支援者	82 ※内、相談員 1 名
平成 29 年度	平成 30 年 2 月 9 日	神経難病の緩和ケア、意思決定支援に関する講演	訪問相談員（看護師）のほか、介護支援専門員等地域の支援者	77 ※内、相談員 1 名

ウ 医療相談事業

表 1 1 - (4) - ウ 医療相談事業実施状況

実施日	参加人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事者人数
平成 29 年 5 月 15 日	30	印旛合同 庁舎大会 議室	脊髄小脳変 性症	参加者交流会	7
平成 29 年 6 月 16 日	30	印旛合同 庁舎大会 議室	筋萎縮性側 索硬化症	ALS 患者でもある医師による講演、参加者交流会	14
平成 29 年 8 月 28 日	19	印旛合同 庁舎第 3・4 会議 室	脊髄小脳変 性症	参加者交流会	5
平成 29 年 9 月 27 日	28	成田市保 健福祉館	筋萎縮性側 索硬化症	理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士による講演、参加者交流会	10
平成 29 年 10 月 24 日	46	印旛合同 庁舎大会	潰瘍性大腸 炎、クローン	消化器内科医による講演	7

		議室	病		
平成 30 年 2 月 22 日	33	印旛合同 庁舎大会 議室	脊髄小脳変 性症	神経内科医による講 演、参加者交流会	5
平成 30 年 3 月 23 日	20	成田赤十 字病院講 堂	筋萎縮性側 索硬化症	神経内科医による講 演、参加者交流会	9

エ 訪問指導事業

表 1 1 - (4) - エ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位：件)

疾 患 名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
総 数	56	49	56
多発性硬化症	-	-	-
全身性エリテマトーデス	-	1	-
筋萎縮性側索硬化症	16	23	33
脊髄小脳変性症	20	2	1
パーキンソン病	8	1	0
核上性進行性麻痺	2	2	-
後縦靭帯骨化症	-	-	-
多系統萎縮症	1	6	3
網膜色素変性症	-	1	-
潰瘍性大腸炎	-	1	-
広範性脊柱管狭窄症	2	-	-
バージャー病	-	-	-
多発血管炎性肉芽腫症	4	-	-
もやもや病	1	-	-
特発性拡張型心筋症	-	2	2
オスラー病	1	-	-
ハンチントン病	1	3	10
脊髄性筋萎縮症	-	1	-
ミトコンドリア病	-	1	-
クローン病	-	1	-
筋ジストロフィー	-	3	3
ウエスト症候群	-	1	-
大脳皮質基底核変性症	-	-	1
シェーグレン症候群	-	-	1
特発性血小板減少性紫斑病	-	-	2

オ 訪問診療等事業

表 1 1 - (4) - オ 訪問診療等事業実施状況 (単位：人)

区分 年度	指導人数		実施方法	従事者人数					
	実 人 員	延 人 員		専 門 医	主 治 医	看 護 師	理 学 療 法 士 等	保 健 師	そ の 他
平成 27 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 28 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 29 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 訪問リハビリテーションも含む。

カ 窓口相談事業

表 1 1 - (4) - カ 相談内容 (単位：人)

内 容	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
相 談 者 数 (延)	3,502	1,371	1,543
申 請 等	3,365	1,161	1,342
医 療	3	24	101
家 庭 看 護	21	84	19
福 祉 制 度	107	58	36
就 労	1	3	2
就 学	-	-	1
食 事 ・ 栄 養	1	2	1
歯 科	-	-	-
そ の 他	4	39	41

キ 難病患者を対象とする医療・介護従事者研修

表 1 1 - (4) - キ 難病患者を対象とする医療・介護従事者研修実施状況

実施日	テーマ	対象者 (職種)	参加者数	内容
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-

1 2 市町村支援

管内市町の事業が、円滑な推進が図られるよう、市町健康づくり推進協議会等へ委員として参加し、事業計画・評価の支援を行っている。

また、精神保健福祉業務の支援としては、個別ケースへの同行訪問や相談同席、コンサルテーション等ケース処遇に関する支援と知識普及を目的とした研修、会議を実施した。

(1) 市町村への支援状況

表 1 2 - (1) 市町村への支援状況

項目 市町村	会 議 ・ 連 絡				技 術 的 支 援		
	会 議 名	回 数 (回)	職 種	主 な テ ー マ	事業名	回 数 (回)	職 種
成 田 市	成田市健康づくり推進協議会	2	課	健康増進課事業実績及び計画について			
	成田市地域包括支援センター等運営協議会	1	保	事業実績・運営に関すること			
	成田市精神保健福祉推進協議会	8	精	成田市における精神保健福祉について			
佐 倉 市	佐倉市健やかまちづくり推進委員会	2	課	「健康さくら21(第2次)」の進捗状況と見直しについて			
	佐倉市障害者自立支援協議会	2	精	佐倉市障害者自立支援協議会における精神部会について			
四 街 道 市	四街道市保健福祉審議会	4	次	こどもプラン一部見直し・高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画等について			
	四街道市保健福祉審議会健康づくり部会	2	次	第2次健康よっかいどう21プラン策定について			
	四街道市保健福祉審議会保育施設重大事故検証部会	5	次	重大事故に係る検証について			
八 街 市	八街市健康づくり推進協議会	2	栄	八街市健康プラン策定について 健康増進課事業報告及び事業計画について			
印 西 市	印西市健康づくり推進協議会	2	課	健康づくり推進協議会事業報告及び事業計画について 第2次健康いんざい21進捗状況について			
	保健師連絡会	1	保	27年度重点活動と具体的対策			
白 井 市	白井市健康づくり推進協議会	1	課	保健衛生事業実績報告及び事業計画について			
	保健師定例会検討会	7	保	地域包括ケア、地域づくり、第2次しろい健康プラン等について			
	白井市栄養士連絡会	1	栄	食育推進事業実績報告及び取り組み等について			

富里市	富里市健康づくり推進協議会	1	保	保健事業実施報告及び事業計画について	富里市家族会講演会	1	精
栄町	栄町在宅介護支援センター運営協議会	1	保	事業報告・事業計画			

※ 職種:医(所長)、次(次長)、課(課長)、保(保健師)、栄(栄養士)、精(精神保健福祉相談員)、事(一般行政)